

3月18日 卒業式

8名の卒業生が、久屋小学校を巣立っていきました。

久屋小のよい伝統を、言葉と態度と背中で後輩たちに示してくれた、そんな卒業生でした。



(校長「はなむけのことば」より一部抜粋)

「江戸っ子」という言葉があります。これは、単に江戸に住んでいる人という意味ではありません。さっぱりしていて人情深いといった江戸独特の気質を持った人、という意味の言葉です。そして、「久屋っ子」という言葉、この「久屋っ子」という言葉も、単に久屋の子供という意味ではありません。苦手なことにも前向きに挑戦して、勉強も遊びも一生懸命、本気で笑ったり本気で悩んだり、お願いされたら断れない、一度引き受けたら責任を全うしようと努力する、困っている人がいたら放っておけない、仲間思いで優しい人、そう、まさに卒業生のみなさんのような人のことを「久屋っ子」と呼ぶのです。

卒業生のみなさん、久屋っ子の心意気を忘れず、自分の道を歩んでください。
卒業おめでとう！

卒業生の保護者の皆様、お子様の成長の過程で、大きな節目を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

来賓の皆様、学校運営協議会の委員の皆様、ご多用の中、ご出席いただきありがとうございました。一緒に見守ってきた6年生が力強く卒業しました。

在校生のみなさんの姿も大変立派でした。「おめでとう・ありがとう・がんばって」の思いは卒業生に届いたと思います。

式後に、卒業生からタイムカプセルを預かりました。久利まちづくりセンター様が用意してくださったタイムカプセル用の桐箱に、各々がメッセージ等を入れて蓋に鍵をかけたものを受け取りました。卒業生が20歳になる年に開封するとのこと、それまで大切に校長室で保管します。



【卒業生の似顔絵 1年生作】



1年間ありがとうございました

3月24日（月）、修了式を行いました。

保護者の皆様、地域の皆様、1年間、本校の教育活動推進に対しご支援ご協力をいただきありがとうございました。

令和7年度は4月8日に着任式・始業式を、4月9日に入学式を行います。

令和7年度も引き続きよろしくお願ひします。



【お礼】各方面からご支援いただきました。ご報告にあわせ、お礼申しあげます。
ありがとうございました。

- 卒業記念額：森山木工所様、渡辺眞工務店様、幸久の家様（代表福田幸司様）より
- 卒業記念品：幸久の家様より